

みんなで築く！

港福一夜城 VOL.3

区長×大学院生の対談を通して「地域」について考えるの巻

区長は、若者は地域福祉やまちづくりのことを、どうみているのか。
地域活動の担い手不足はだれ目線の話なのか。
世代、ジャンルを超えて集まる場だからこそ
本音で語り合いたい。

日時 2017年3月23日(木) 18:30~20:15

会場 野菜レストラン さいとう

定員 60人(事前予約・先着順)



参加費 1000円(ワンドリンク軽食付)

終了後・懇親会あり。会費4000円

(コース料理・飲物付)

対象：港北区在住在勤等ゆかりある方で
地域のまちづくりや福祉的な取り組みに関心ある方

主催 港福城プロジェクト

港福城プロジェクトは、港北区内で福祉に関わる団体・個人が
自由意志で意見交換・学びあいのために参加するプロジェクト。
参加費は資料代、講師謝金などに充当します。
年数回の勉強会を行う予定です。

WEB等で告知します。 <https://www.facebook.com/kohokusasuke/>

福の衆(プロジェクト賛同人)

このプロジェクトは港北区にゆかりのある有志が、次代を担う人たちが所管や事業の枠を超えて横断的に連携することこそが、地域住民の明日の暮らしの幸せを築くことにつながることを願って、プロジェクト賛同人＝「福の衆」と名付け、たくさんの方々のご賛同を得て運営します。裏面に五十音順で掲載しています。



申込・問い合わせ：

港福城プロジェクトTEAMSASUKE

<http://kokucheese.com/event/index/451384/>

畑中 (y-hatanaka@bi-no.org)

田之畑 (tanohata@kohoku-drop.com)

港北の福祉の次代を

担う人が集まる

一夜城

役職・職域・世代は

関係ない。身近な実践を

聞きあい、

ただ明日のために

語り合おう

みんなで築く！



こうふくいちやじょう
港福一夜城 VOL.3

今夜のご当主

●登壇者

横山 日出夫さん

(港北区長)

竹田 和広さん

(一般社団法人ウィルドア共同代表理事)

慶應義塾大学大学院

システムデザイン・マネジメント研究科)

当日はキャリアデザインや地域貢献活動に関わる若者、会場のオーナーシェフ 齋藤良治さんにもお話を伺う予定です。

今夜のご当主 プロフィール

横山 日出夫さん (港北区長)

愛知県出身の現在55歳。大学入学に伴い上京し、卒業後の1983年横浜市役所に入庁。市立大学事務局を皮切り、総務局人事課、財政局財政課などを歴任。2000年に下水道局経営企画課担当課長に就任している。2002年旭区役所区政推進課長職。2008年西区福祉保健センター担当部長になり、西区地域子育て支援拠点スマイル・ポート開設に尽力、総務局人材組織部長を経て現職。瀬谷区在住。妻と高校3年の男の子の3人家族



竹田 和広さん (一般社団法人ウィルドア共同代表理事/慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科)

高校時代に行った「現代の高校生が抱える問題はなにか?」という議論をきっかけに、「やりたいことがわからない」と悩む人の多さに問題意識を持ち、大学進学後も「どうすれば夢を見つけられるのか」を実践を通して模索。また一方で、祖母が被災するもその地域の方々に助けられ無事に帰還するという出来事から「地域コミュニティ」に関心を持ち、大学在学中は日吉地域を中心に様々な地域に入り込み、その現状・可能性を学ぶ。特に地域が「若者の成長の場」となることに注目し、地域資源を活かした若者の「生きる力」育成の仕組みづくりを研究すべく大学院に進学。2015年5月一般社団法人ウィルドア設立、「一人ひとりが自分」と「社会」と共に生きられる未来を目指して幅広く地域・教育に関わる活動に取り組んでいる。



今回会場をお借りする 野菜レストランさいとう オーナーシェフ 齋藤良治さん

先祖代々菊名で農業を営む家に育つ。30代で病気をしたことをきっかけに料理人を志し、2005開業。以降、小学校での食育授業などにも取り組む。区内はもとより、三浦半島の農家まで自ら足を運ぶことを欠かさない。日本伝統のしょう油やみそ、こうじを使ったヘルシーフレンチは評価高く、メディア掲載も多数。横浜市を地産地消の街にするための「濱の料理人」プロジェクト副会長。



港福一夜城これまでのあゆみ

Vol1.2016.10.13(木) 18:45~20:30/ 会場 どころっぴサテライト

ご当主:加藤 彰彦さん(沖縄大学前学長)×村田 由夫さん(大倉山保育園園長) 参加者 約70名

1970年代以降、お二人が中区寿町で見てきた出来事、人々の姿をいきいきと、当時のスライドを見ながら、伺った。その佇まいから、お二人の支援者としてのありようが浮かび上がるとともに、これからのまちづくり、人づくりを担う人々へのメッセージ、福祉の場において戦う実践者としてのDNAがそれぞれの人たちの胸に刻まれた。

Vol2.2017.1.13(金) 18:30~20:00/ 会場 港北区役所1F 予防接種室 参加者 約100名

ご当主:鈴木 明子さん(野のすみれクリニック)×山下 容子さん(株式会社あやちゃん家) 参加者 約100名

障害児の母という当事者として、プロフェッショナルな医療者、看護師という立場で活動してきた取組についてお話を伺った。実践の中から見えてくる、地域で障害児者が共に育ち、暮らすためにこれから必要なことについて、定員を大幅に越えて参加した約100名とともに分かちあい、それぞれが明日できることについて考える機会となった。



福の衆-プロジェクト呼びかけ人- (五十音順) 2017年2月1日現在

青木恵美子 (NPO 法人フラットハート)・安達和世(岸根保育園副園長)・池田誠司(港北区社会福祉協議会)・石原千草・伊藤泰毅・入江勝通(港学舎/コミバス市民の会)・岩本洋子(日吉台光幼稚園)・岩本邦彦(日吉台光幼稚園副園長)・宇田川規夫(港北区災害ボランティア連絡会・国際救急法研究所)・大神田絵美(城郷小机地域ケアプラザ)・奥山千鶴子(NPO法人びーのびーの)・大場佳代子(NPO法人あいあい)・大豆生田啓友(玉川大学大学院教授)・大野玲子・大原日恵・門倉晴義(金沢区社協)・河村太喜・北見智美(天王町保育園園長)・木下豊(港北図書館館長)・久保希有子・小池伊左雄・小嶋正夫(中区社協)・小林富夫(トライセブン)・小林康夫・嶋宏之(高田地域ケアプラザ)・白瀧宏子(たんぼぼ保育園園長)・新堂泰江(社会福祉法人かれん)・助廣一則・鈴木ヨシモト直美(株式会社GCI(訪問看護ステーション))・鈴木智香子(NPO法人街カフェ大倉山ミエル)・鈴木美美子(NPO法人ハッピーマザーミュージック)・関口昌幸(横浜市政策局)・妹尾信二(精神保健ボランティアグループあみねっと)・芹田賢治(たかたんのおうち代表)・田中孝秀・田之畑有美(港北区地域子育て支援拠点サテライト副施設長)・畑中祐美子(NPO法人びーのびーの)・原美紀(港北区地域子育て支援拠点施設長)・平井誠二(大倉精神文化研究所)・藤岡圭子(新吉田地区民生委員)・丸田剛洋(北綱島小学校)・武藤啓司(楠の木学園)・村田由夫(大倉山保育園園長)・宮田光明(港北区民生委員児童委員協議会)・安江文子(ちいさなたね保育園)・山科礼子(日吉宮前地区民生委員)・山村朋子(株式会社GCI(訪問看護ステーション))・安田加代子・山下容子(放課後等デイサービス わくわくさん綱島東の扉)・山本一乃(日吉地区センター副館長)・渡邊広美(新田地区センター) 齋藤良治(レストランさいとう オーナーシェフ)